

第4次総合計画 総括シート

資料4

大綱	子育て支援と健康福祉の充実
----	---------------

1. 施策別の達成状況

施策目標		達成状況 ( ...目標を超えて達成、 ...目標どおり達成、 ...一部の目標が未達成 )	
-1	子育て支援の充実 (こども保健部)	主な実績と評価	多様な保育ニーズに対応するため、一時預かり保育や障害児保育等の特別保育事業の拡充、地域子育て支援センターや親子ひろばの開設など、子育て支援事業の充実に努めた。また、子ども医療費助成制度の制度拡充を段階的に行い、経済的な面からも支援を行った。この他、公立私立の保育所の施設整備を実施し、需要が高まっている児童クラブの整備充実も図った。
		課題と今後の対応	今後の子ども医療費助成制度の拡充については、財政状況等を勘案して検討する必要がある。市全体の保育施設や子育て支援事業のあり方については、関係機関との調整、連携を図りながら検討を進めることが極めて重要である。
-2	健康づくりの推進、医療体制の充実 (こども保健部)	主な実績と評価	疾病予防では、がん検診無料クーポン券の送付等による受診率向上、予防接種の無料化や助成制度の創設を行った。また、地域に必要な救急医療は、各医療機関の協力により体制を維持している。これらの取組みを通じ、男女共に健康寿命が伸びており一定の成果が上がっている。この他、不妊・不育症への支援として助成制度を創設し、経済的負担の緩和を図っている。
		課題と今後の対応	今後も健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病をはじめとする疾病予防と健康増進に取り組む。また、全ての市民が主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、様々な社会資源との連携を強化する。地域医療については、救急医療体制の確保を中心に取り組む。
-3	高齢者福祉の推進、介護保険事業の推進 (環境福祉部)	主な実績と評価	急激な高齢化に対応し、不安をできるだけ軽減できるよう、ソフト面では、地域包括支援センターを設置して高齢者の総合相談支援等を実施し、関係機関とした連携した支援体制を構築したり、市内184か所でこけい体操(介護予防事業)を立ち上げ、活動を支援した。ハード面では、老朽化が進んだ養護老人ホームを改築などに取り組んだ。
		課題と今後の対応	後期高齢者数の増加に伴い、認知症や独居の高齢者が急増する一方、今後、要支援の給付が介護予防サービスから分離され、市町村事業や介護保険外のサービスへ移行することから、自治体を中心となって地域で高齢者を支える仕組み作りが課題。
-4	障害者福祉の推進、低所得者福祉の推進 (環境福祉部)	主な実績と評価	家庭や地域社会における連帯感が希薄化する中、地域において支え合う仕組みづくりを進めるために、津山市地域福祉計画を策定した。また、障害者の地域社会における共生を実現するため、障害福祉サービスの充実や相談支援体制の整備等に取り組む、日中一時支援事業所や、相談支援事業所の開設などにより障害福祉の推進を図った。
		課題と今後の対応	地域福祉の推進のためには、市民・地域・団体・事業者・社会福祉協議会・行政等、多様な主体によるネットワークの構築が必要である。また、障害者が地域生活へ移行するための支援として、地域における体制づくりや通所型サービスの充実等が課題となっている。

2. 施策別の代表的な成果指標の達成度

-1	ファミリーサポートセンター事業の 会員数 (こども保健部)	指標の説明	子育ての支援を受けたい人で行いたい人が相互援助活動を行う組織の会員数									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値			900人			1,060人				1,140人
		実績値	703人	785人	846人	933人	975人	971人	990人	1,003人		
達成率	78.1%	87.2%	94.0%	88.0%	92.0%	91.6%	86.8%	88.0%				
		達成状況の評価	0歳から小学校6年生までの乳幼児及び児童を預かることで子育て家庭の支援を行う本事業の会員数は、順調に増加しているところであるが、今後も、親子ひろば「すくすく」(子どもと一緒に遊んだり、親同士が子育てについて意見交換する場)との連携や、広報活動の充実により、会員増を図る。									
-1	一時保育の実施 保育所(園)の数 (こども保健部)	指標の説明	保育所で実施する一時預かり保育事業の実施園数									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値			15か所			15か所				18か所
		実績値	11か所	13か所	13か所	16か所	15か所	15か所	15か所	15か所		
達成率	73.3%	86.7%	86.7%	106.7%	100.0%	100.0%	83.3%	83.3%				
		達成状況の評価	実施上の課題について(利用者のアレルギー対応等)整理するとともに、平成25年度に実施した保護者ニーズ調査による検証を行うなど目標達成に向けて取り組みを行った。									
-1	放課後児童クラブ の開設数(累計) (こども保健部)	指標の説明	放課後児童クラブの開設数									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値			25か所			32か所				36か所
		実績値	22か所	24か所	27か所	29か所	33か所	34か所	34か所	34か所		
達成率	88.0%	96.0%	108.0%	90.6%	103.1%	106.3%	94.4%	94.4%				
		達成状況の評価	児童クラブの利用を希望する全ての児童が利用できるよう、開設クラブ数の増加に努めてきた。清泉小学校区での児童クラブ開設(平成27年度)をもって、全小学校区で放課後児童クラブが開設される。									
-2	子宮がん検診受診 率 (こども保健部)	指標の説明	女性のがん罹患率4位の子宮がん検診受診率									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値			35.0%			35.0%				20.0%
		実績値	23.5%	24.4%	10.4%	12.2%	19.7%	16.9%	17.8%	17.5%		
達成率	67.1%	69.7%	29.7%	34.9%	56.3%	48.3%	89.0%	87.5%				
		達成状況の評価	目標達成のために受診環境を整備している。また、子育て世代・働き盛り世代である20歳~40歳代前半で患者が増加していることから、新規受診者の増加を目標として、罹患率の高い年代に無料クーポン券を配布したり、受診勧奨通知を送付するなど、目標達成に努めている。									

-3	地域包括支援センター相談件数 (環境福祉部)	指標の説明	市内8か所で高齢者の総合相談業務等を行う地域包括支援センターにおける相談受付件数									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値			23,000件			25,000件				31,000件
		実績値	16,927件	20,456件	19,031件	18,554件	28,854件	30,089件	31,973件	27,026件		
達成率	73.6%	88.9%	82.7%	74.2%	115.4%	120.4%	103.1%	87.2%				
	達成状況の評価	平成25年度においては一時的に相談件数が減少しているが、高齢者虐待への対応や成年後見制度の活用支援などの困難案件は年々増加している。認知症高齢者の対応を含め、解決までに長期間を要す相談件数は今後更に増加するものと思われるため、センターの体制強化が必要となっている。										
-3	めざせ元気！こけないからた講座実施数 (環境福祉部)	指標の説明	町内会等が主体となり健康づくりを目的として実施する介護予防事業の実施地区数									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値						135か所				202か所
		実績値				128か所	152か所	168か所	177か所	181か所		
達成率				94.8%	112.6%	124.4%	87.6%	89.6%				
	達成状況の評価	地域住民が自主的に介護予防を行う本講座の実施地区数は年々増加している。しかし、新規実施地区数は、以前よりも減少傾向にあることから、今後は、未実施地区へのアプローチ方法等を検討する必要がある。										

3. 施策別の代表的な主要事業の評価(平成18年度～25年度は実績、平成26年度～27年度は参考値)

事業名	事業の説明	前期	中期	後期	事業の評価	今後の課題 (事業継続中の場合に記入)
		H18	H21	H24		
		H19	H22	H25		
		H20	H23	H26		
				H27		
-1	子ども(乳幼児)医療費公費負担事業 (子ども保健部)				平成18年度に小学校就学前まで入院・外来診療とも無料とし、平成22年10月から入院診療を中3まで無料。外来診療も、平成23年7月には小3まで、平成24年4月には小6まで、平成25年4月には中3までを1割負担とし、段階的に制度拡充した。	市民や各種団体等から、継続的に無料化の要望がある。今後も制度拡充後の実施状況や財政状況等を勘案して検討する。
	地域区分	全市	事業費	877,275千円		
-1	勝北風の子子ども園整備事業 (子ども保健部)				勝北地域のみならず、全市的な保育ニーズに対応しており、延長保育・一時預かり保育・障害児保育といった特別保育事業や、子育て支援センター事業も実施し、地域の子育て支援に対応している。	
	地域区分	勝北	事業費	991,834千円		
-1	倭文保育所移転整備事業 (子ども保健部)				移転新築により、安心安全な環境が確保でき、保育需要に対応できている。今後も施設の老朽化や耐震化の必要性、市民ニーズの状況等総合的な判断のもと、必要に応じて整備を検討する。	
	地域区分	久米	事業費	420,781千円		
-1	民間保育園施設整備補助事業 民間保育園での特別保育事業 (子ども保健部)				保育所の必要性に応えるため、民間保育園の施設整備へ必要な補助を行うことで対応した。多様化するニーズに、サービス提供体制への補助という形で対応した。	緊急度、必要性に応じて補助を行っていく。ニーズが充足できていない事業について、「子ども・子育て支援事業計画」に基づき提供体制の確保を図る。
	地域区分	全域	事業費	382,616千円		
-2	小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチン・子宮頸がんワクチン接種助成事業 (子ども保健部)				いずれのワクチンも、平成25年度からは予防接種法に基づく定期接種として実施している。小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチンの接種率は、40～50%程度であり、保護者に対して接種の重要性を周知していく必要がある。	子宮頸がんワクチンについては、平成25年6月14日から副反応問題により接種勧奨の差し控え中であるため、今後は、国の動向を見極め対応を行う。
	地域区分	全域	事業費	409,379千円		
-2	高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業 (子ども保健部)				平成26年10月から予防接種法に基づく定期接種が実施され、対象の年代が追加されている。接種率については10%程度で推移している。接種率の向上を図るため、定期接種対象者に個別通知(接種券)を送付し接種の勧奨を行う。	肺炎で亡くなる方の95%が高齢者である。対象年代に対してワクチンの効果等を、愛育委員を通じて啓発していくなど様々な広報手段を検討する。
	地域区分	全域	事業費	29,037千円		
-2	不妊・不育治療支援事業 (子ども保健部)				保険外治療費の経済的負担を軽減することを目的とした本事業は、不妊治療では、事業開始から70名が、不育治療では同じく7名が、出産に結びついており、両事業とも申請・問合せは増加傾向にある。	不妊治療、不育治療とも他都市の制度を参考にし、助成金額・助成回数等を見直すことも検討する。
	地域区分	全域	事業費	28,521千円		
-3	地域包括支援センター設置・運営事業 (環境福祉部)				地域包括ケアシステムの実現に向け、連合町内会各支部で小地域ケア会議の立上げを目指し、平成24年度から26年度までに、33支部で活動支援を実施した。また、認知症高齢者、高齢者虐待への対応を含め、高齢者の相談業務を行った。	平成27年度の介護保険制度改正で、センターは、地域包括ケアシステムの中核的な機関と位置づけられており、更なる機能強化が求められている。
	地域区分	全域	事業費	965,182千円		
-3	ときわ園移転整備事業 (環境福祉部)				旧施設は、老朽化が著しく、現行の施設基準から乖離しており、また高齢者数の増加に伴い入所措置が必要な高齢者も増加しているため、移転新築した。新施設の運営は、指定管理制度導入を検討しており、効率的な運営を図る。	
	地域区分	全域	事業費	1,555,865千円		